

各 位、

平成 30 年 7 月 18 日
株式会社新生銀行

「統合報告書 2018」(ディスクロージャー誌)の発行について

当行は、株主や投資家、お客さま、従業員などのすべてのステークホルダーの皆さまを対象とした「統合報告書 2018」(ディスクロージャー誌)を発行いたしましたので、お知らせいたします。

当行では、投資家、アナリスト、株主の皆さまなどの市場参加者との建設的な対話を積極的に促進することを目的とした新生銀行グループ IR・SR ポリシーを定めています。統合報告書 2018 は、このポリシーに添いつつ、すべてのステークホルダーの皆さまとの建設的な対話を行うための重要なツールの一つとして、主に以下の点を中心に従来発行してきた年次報告書から改善を図りました。

1. 社会課題や金融環境の変化を踏まえた、新生銀行グループの価値創造モデル

価値創造モデルを端的に表現した上で、その中身について、CEO メッセージ、中計・戦略、事業概況、ESG 基盤などの各パートでご説明しています。

2. 新生銀行グループの事業に直接的・間接的に関係する ESG 情報の開示

「E」(Environment)では環境問題に関する事業の取り組み、「S」(Social)では働き方改革や女性活躍推進といった人材への取り組み、お客さまや社会への取り組み、「G」(Governance)では取締役会の実効性や役員報酬制度などの企業統治の取り組みをご説明しています。

当行では、引き続き、各種法令、諸規則などに則った情報開示に加え、全てのステークホルダーの皆さまとの建設的な対話に必要なと判断される情報を積極的に開示するように努めてまいります。

【ご参考】新生銀行 統合報告書 2018

<http://www.shinseibank.com/corporate/ir/arir/>

以 上